

ババジウカイ

Athemus babai (Ishida)

コウチュウ目ジョウカイボン科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

局地的分布を示し、開発されやすい湿地に生息する。

形態

体長7～8mmである。前胸背は黄色で中央に黒紋を有する。上翅には黒地に黄褐色の縦すじがある。

国内分布

関東以西の本州、四国、九州に分布する。

県内分布

加賀市、小松市、金沢市、志賀町の低山地の湿地から生息が知られている。

生態

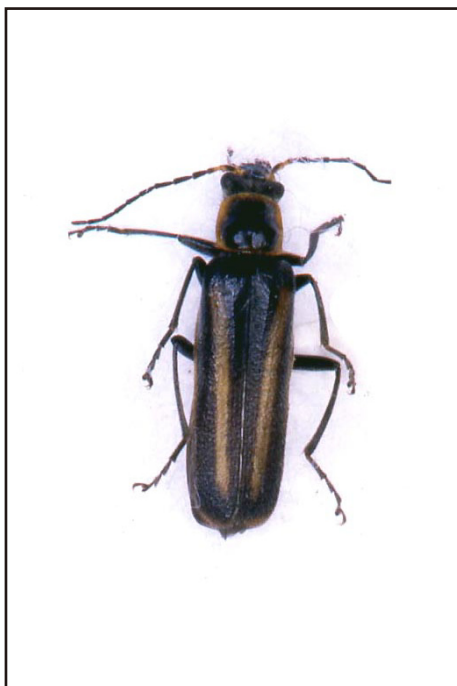
成虫の出現期は4月から5月である。湿地帯の草地に生息し、他の小昆虫を捕食する。幼虫は林床に生息し、肉食性である。

生息地の条件

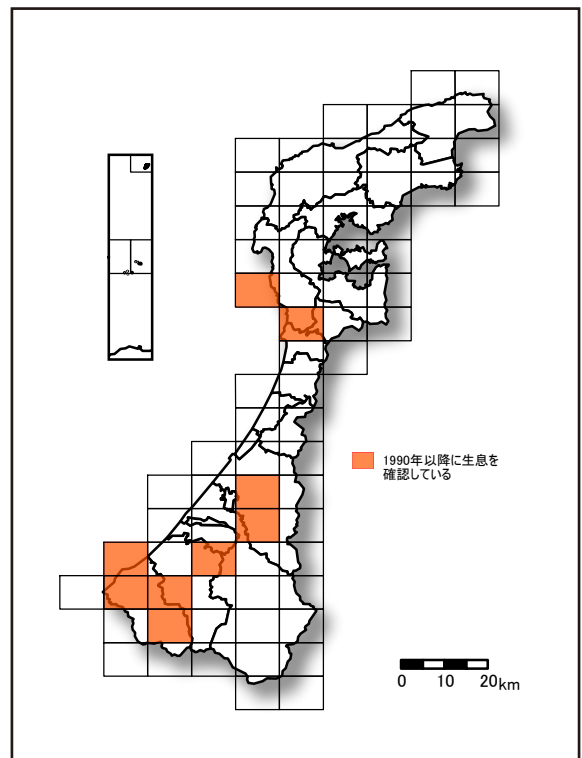
低山地において、湿地とそれに続く草地が存在することが重要である。

生存の危機

本種の生息する湿地帯は開発等により、埋め立てられる可能性が高い。また、植生の遷移や乾燥化による湿地の消滅も大きな脅威となる。(A, B)



標本提供者：高羽正治



県内の分布